

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
香美市	香美市	H29. 4. 1～R4. 3. 31	H29. 4. 1～R4. 3. 31

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27 年度)	目 標 (令和3 年度) A	実 績 (令和3 年度) B	実績 /目標
総人口	26,743	25,391	25,494	—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	200	170	166 97.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.7%	0.7%	0.7% -%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4,294	4850	4,574 94.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	16.1%	19.1%	17.9% 60.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	9,602	7,541	7,727 102.5%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

実績が計画を下回った要因として、浄化槽補助対象区域のほとんどが、市街化調整区域及び都市計画区域外にあり、大規模な宅地分譲がないうえ、人口の過疎化も市街化区域と比べ顕著であり、さらに高齢化により改修費用の捻出ができない住民が増えたことが要因の一つと考えている。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度令和8年度まで

合併処理浄化槽の普及のため、市の広報誌及びホームページ等に浄化槽設置整備事業を掲載し、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽整備を引き続き実施する。また、単独浄化槽が設置されている世帯を重点に転換を促進するため、単独浄化槽における生活排水処理の影響や経年劣化による老朽化の状況等を周知し合併処理浄化槽設置に対する意識高揚を図る。

(都道府県知事の所見)

生活排水処理全体の普及率は全体目標である 70.3%に対し、実績が 69.7%と概ね目標を達成している。未処理人口は 9,602 人から 7,727 人と着実に減少している。

浄化槽については、計画の整備基数 185 基に対して実績は 165 基であり、施設の整備は計画の約 90%であった。浄化槽整備区域内の人口が特に減少していることが目標を下回った要因であったと推測される。

今後も、積極的な浄化槽設置の啓発及び単独処理浄化槽からの転換を含む浄化槽の設置整備を併せて実施することで、汚水処理人口普及率が着実に向上していくことが期待される。